



横浜ユーフォニアム合奏団 第11回演奏会

文化庁「ARTS for the future!」補助対象事業

2021年 11月6日(土)
開演 19:00 (開場 18:30)
横浜市開港記念会館 講堂

【主催】
横浜ユーフォニアム合奏団
【後援】
横浜市文化観光局





～ご挨拶～

本日はコロナ感染対策にご協力を賜り、ご来場誠に有難うございます。

100年に一度と言われる世界的大流行のコロナ感染による影響を受けた私達は、練習場所も無く、一緒に音を出す事も出来ないと言う状況下で2度の演奏会の延期と中止を経験しました。当団の存続の危機を乗り越える事が出来るのかどうか、その最も困難な時期に、皆様のサポートを頂き、文化庁の継続支援事業「ARTS for the future!」の採択を受ける事が出来まして、本日の演奏会を迎える事が出来ました。

また、本年度の当団委嘱作品としまして、世界初演の2作品を本日のステージで披露させて頂きます。団員一同精一杯の演奏を致します。ユーフォニアムの響きの中に会場の皆様との一体感を得ることが出来たら、こんなに嬉しいことはありません。

御支援を賜りました全ての皆様に感謝を申し上げます。

横浜ユーフォニアム合奏団 一同

～プログラム～

1. コンサートファンファーレ (E.エワイゼン)

1st. 中本、Hurtado 2nd. 伊藤、海野 3rd. 山戸 4th. 宇津木 5th. 高橋 6th. 深石、関口

2. 古典的協奏曲より第1楽章 (J.ホロヴィッツ)

1st. 伊藤 2nd. 海野 Pf. 岡南

3. ふるさとの四季 (編曲: 源田 俊一郎)

1st. 高橋 2nd. 関口 3rd. 宇津木 Pf. 岡南

4. ヘリオドール (八木澤 教司) 【令和3年度当団委嘱作品世界初演】

1st. 深石 2nd. 山戸 Pf. 岡南

5. 3つの対話～2本のユーフォニアムのための (三澤 慶)

【令和3年度当団委嘱作品世界初演】

1st. 深石 2nd. 山戸

6. さくらのうた (福田 洋介)

1st. 海野 2nd. 山戸 3rd. Hurtado 4th. 伊藤、深石

7. 小フーガト短調 BWV578 (J.S.バッハ)

1st. 高橋 2nd. 中本 3rd. 関口 4th. 山戸 5th. 宇津木

8. ディヴェルティメント K.136 (W.A.モーツァルト、編曲: 伊東 明彦)

1st. 高橋 2nd. 中本、海野 3rd. 深石 4th. 伊藤 5th. Hurtado 6th. 関口 7th. 山戸 8th. 宇津木



委嘱作品について

ヘリオドール：八木澤 教司

横浜ユーフォニアム合奏団令和3年委嘱作品。

ヘリオドール（太陽の贈り物）は「人生を切り開く力」があると言われる石です。

私は作曲家としてデビューしたばかりの頃に、ユーフォニアム奏者の深石宗太郎先生と出会いました。毎年のようにユーフォニアム・チューバアンサンブルの新作を初演していただくだけでなく、演奏家としての視点で作品に対して様々なご助言をくださいました。

深石先生と共に新しいレパートリーを開発してきたことは、私が作曲家として世界に認知されるきっかけの一つとなり、まさにタイトル通り「人生を切り開く」ことになる出会いでした。そうした感謝の意味と共に、この作品をこれから演奏するであろう奏者にとって未来が開かれるように願いを込めて作曲しました。

小品ではありますが、ユーフォニアムの魅力を存分に追求できる内容に仕上げましたので、様々な機会でも演奏していただけたら幸いです。

3つの対話～2本のユーフォニアムのための：三澤 慶

横浜ユーフォニアム合奏団令和3年度委嘱作品。

同団を率いる深石氏より

「アマチュアプレーヤーや中高生などが気軽に取り組めるような、ピアノ伴奏なしのデュオ」というご希望をいただいた。

なるほど氏の仰る内容やそういった作品の有用性は金管奏者でもある私としても、よく理解ができる。コンテストやコンサートを目的にせずとも、日々の練習の中で仲間と気軽にデュエットに取り組むような何気ない時間が上達を目指す金管奏者にとってはとても大きな意味を持っているのである。

そのような観点から、コンサート・コンテストピースとしてではなく、リズムや音量変化、フレーズ、サウンドのコントロール、イントネーションの統一といった要素を吹く事で学べる事を目指した作品である。

1.実務的な対話

I.Practical dialogue

行進曲風な音楽の中に、金管楽器特有のファンファーレ的な音形でのイントネーションの統一感や華やかな音色感、メロディーと伴奏の役割の変化などを感じ取りながら演奏できることを目指している。

2.穏やかな対話

II.Gentle dialogue

レガートのフレーズでの音色や音量の変化、旋律と対旋律の対比など、メロディーを「歌う」ことを意識した楽章である。

3.楽しい対話

III.Joyful dialogue

シンプルな和声、リズム、旋律による楽章であるが、それぞれのパートの役割や声部の上下が、まるで興奮した友達同士のおしゃべりのように目まぐるしく変化する。

出演者プロフィール

伊藤 優晶 (いとう まさあき)

洗足学園音楽大学卒業。尚美ミュージックカレッジ専門学校ディプロマ科修了。
ユーフォニアムをこれまでに円能寺博行、深石宗太郎、露木薫の各氏に師事。
ユッカ・ミュリュス、外園祥一郎、鈴木浩二各氏の公開レッスン、マスタークラスを受講。
第12回大阪国際音楽コンクール金管楽器の部入選。横浜市民広間演奏会会員。

宇津木 宏光 (うつき ひろみつ)

洗足学園音楽大学及び同大学大学院音楽研究科修了。大学卒業時優秀賞を受賞し卒業演奏会に出演。
第13回日本クラシック音楽コンクール4位入賞し、前田音楽奨励賞受賞。第76回横浜市新人演奏会出演。
ユーフォニアムを深石宗太郎に師事。
演奏活動の他、吹奏楽・マーチングバンド等の指導、吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストの審査員を務める。

海野 百合香 (うみの ゆりか)

神奈川県横浜市出身。4歳からピアノを、12歳からユーフォニアムを始める。
国立音楽大学をユーフォニアムで卒業、同時に吹奏楽コース修了。在学中はクラシック音楽を中心に学び、
卒業後ジャズクラリネット奏者谷口英治氏のライブを聞いた事をきっかけにジャズを始める。
アイオワで開催されたITEC2019 RICH MATTESON JAZZ COMPETITIONのセミファイナリスト。
第8回ちぐさ賞ライブ選考会において審査員特別賞を受賞。
現在は横浜を中心に活動中で、ユーフォニアムの柔らかい音色でジャズでの活躍を目指し、バンドでの音作りを重ねている。

高橋 美奈子 (たかはし みなこ)

尚美ミュージックカレッジ専門学校卒業。2007、2009年同専門学校同窓会新人演奏会に出演。第3回ジュニア管打楽器コンクール1位。
第29回日本管打楽器コンクール入選。尚美ミュージックカレッジ、佐倉ウインドアンサンブルとコンチエルトを共演。
これまでにユーフォニアムを三浦徹、荒木玉緒、牛渡克之、齋藤充の各氏に師事。
現在、Brass Exceed Tokyo、東京ブラスソサエティ各メンバー。

中本 利輝 (なかもと としき)

洗足学園音楽大学卒業。在学中、平成26年度特別選抜演奏者に選ばれる。
第15回Brian L.Bowman記念コンクール、19歳以上一般の部にて第2位(1位なし)。
Asia Tuba&Euphonium Festival 2017内のコンペティションにて第2位。ユーフォニアムを露木薫氏に師事。
Dr.Demondrae Thurman、Dr.Brian Bowman、Thomas Ruedi、Mark Jenkins、Matt Tropman、Benjamin Pierce、牛渡克之、鈴木浩二、
新井秀昇、伊東明彦の各氏のレッスンを受講。横浜市民広間演奏会会員。

深石 宗太郎 (ふかいし そうたろう)

国立音楽大学を首席卒業、矢田部賞を授賞。
1986年、米国テキサス大学にて開催されたITECコンクールにおいて、日本人金管楽器奏者として国際コンクール初入賞となるユーフォニアム部門第2位。
87年、レナード・ファルコーニ国際コンクール第3位。89年、第6回日本管打楽器コンクール第2位を受賞。
シンフォニックファンファーレ東京ソロ首席ユーフォニアム奏者。シンフォニックプラス東京ユーフォニアム奏者。
海上保安庁音楽隊技術研修講師。慶應義塾大学ウインドアンサンブル0Bバンド吹奏楽団指揮者。洗足学園音楽大学客員教授。
三浦徹氏に師事。

山戸 宏之 (やまと ひろゆき)

昭和音楽大学卒業。イギリス・バーミンガム音楽院に1年間留学。2007年度に1年間バンドジャーナル誌にワンポイントレッスンを執筆。
現在、ヴィヴィッド・プラス・トーキョウ、トレイルプレイヤーズ・テンピース・プラスのバトンを奏者。
その他、吹奏楽、アンサンブル、ソロ等でユーフォニアム、バトンを奏者として活動している。
また、演奏活動だけではなく、吹奏楽部での指揮、指導や個人レッスンにも力をそそいでいる。
ユーフォニアムを三浦徹、大房美穂、深石宗太郎、スティーブン・ミードの各氏に師事。
昭和音楽大学非常勤講師(合奏)。東京音楽院講師。

関口 嬉架 (せきぐち きっか) ※研修生

神奈川県出身。洗足学園音楽大学管楽器コース1年生在学中。
中学校の頃よりユーフォニアムを初め、これまでにユーフォニアムを海野百合香、深石宗太郎の各師に師事。
3歳の時の脳梗塞により左手足に麻痺があり、演奏時にはユーフォニアム奏者としては珍しいファゴット用のストラップを使用する。

Matthew Hurtado (マシュー ヒュタード) ※研修生

テキサス州(アメリカ合衆国)出身。横浜市在住。現在インターナショナルスクールの音楽講師。
2015年にはテキサス州立大学(テキサス州)で音楽教育を学び、2017年にはレイジアナ州立大学(レイジアナ州)でユーフォニアム演奏の修士号を取得。
ユーフォニアムを演奏するほか、2018年にはプロのトロンボーン奏者として初めて日本に来て、FNS歌謡祭に出演したり、マーチングバンド(DC)を指導したり、
多岐な活動をしている。

岡南 健 (おかなん たけし) 【ピアノ・賛助出演】

洗足学園音楽大学を経て同大学院修了。大学卒業時に優秀賞を受賞し卒業演奏会に出演。
同大学アンサンブルニューボーと眞鍋昭大のOcean's Voice、徳島県立城東高等学校オーケストラ部とラフマニノフのピアノ協奏曲第2番を協演。
第22回“長江杯”国際音楽コンクールにて優秀伴奏者賞を受賞。
これまでに室内楽を清水将仁、西脇千花の両氏に、ピアノを英美生、吉武雅子の両氏に師事。

